

# 婦人教育の充実を目指して

東和町教育委員会

## 一、はじめに

私たちのふるさと東和町は、福島県の中通りにあたり、二本松駅より東方約十六キロメートルの地点に町の中心をもつ。針道、木幡、太田、戸沢の四村が昭和三十年に町村合併された。以来産業基盤と交通、通信網の整備、教育施設の整備充実、福祉の増進を図り、活力と安らぎのある町づくりを励んでいる。

岩代町と川俣町、飯野町にかこまれた阿武隈山系の農山村である。人口一万人、世帯数二千七十九戸、農家数は千六百九十一戸で、専業農家はわずか七・九%と兼業化が目立ち、二本松福島に通勤するかたわらの第二種兼業が三二%も占めている。

農業が女子の手に、また若い婦人は町に進出した弱電関係の工場に、また



子供のしつけについて講演を聞く

縫製関係にと勤労婦人が多い現状の中において、むだを見いだし明るく町づくりにと町民総ぐるみで努力している。

## 二、わが町の婦人教育

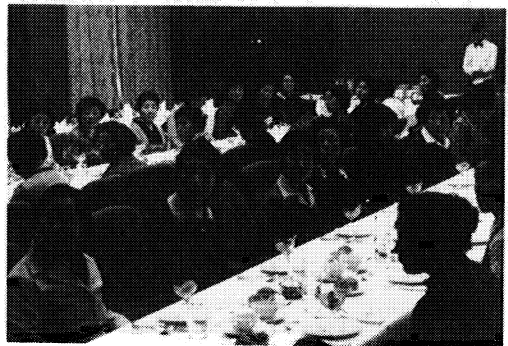
むだをはぶき明るい家庭を作ろうとのスローガンのもとに、公民館を母体として自主活動につとめ、婦人の地位の向上をめざして輪を広げコミュニケーション作りにと励んでいる。

- 県主催の各種婦人教育、研修会への積極的参加（毎年三〜四名参加）
- 各種婦人会、老人クラブ、婦人学級生の交歓研修会
- 婦人会、婦人学級のリーダー研修会（警青）
- 小グループの育成指導助言

うなずくだけの婦人でなく、発言し話し合える婦人の育成につとめる。

## 三、婦人教育の現状

明るく町づくりは、家族の健康と理解による積極性及びコミュニケーション作りには婦人の果す役割の大なることを知ると



テーブルマナー講習会

表1 各種事業名

事業名	対象	開催	催	財源	人数	場所
家庭教育学級	小学校低学年父兄	年二〇時間	自主運営	公民館	四十名	各七小学校
乳幼児学級	親をもち第一	年一〇時間	補助運営	公民館	四十名	町公民館
南戸沢	〃	〃	〃	〃	四十六名	四区公民館
北戸沢	〃	〃	〃	〃	五十三名	戸沢公民館
太田第二	〃	〃	〃	〃	八十二名	上太田小学校
太田第一	〃	〃	〃	〃	三十八名	鷹巣集会所
木幡婦人学級	地区婦人	月一、二回	自主運営	公民館	六十五名	木幡公民館
針道婦人学級	〃	年二、五時間	〃	〃	九十九名	町公民館

- 同時に、就労婦人の多い現状の中で各種婦人団体実践グループとの密な連絡提携を図り、農繁期においては通信学習につとめている。
- (一) 町教育委員会が行う事業（表1参照）
- (二) 公民館助言の自主的なもの
- ① 家族の健康管理研究会（若妻会）
  - ② 各婦人会（六単婦）
  - ③ 連合婦人会（白ばら会）
  - ④ 生活改善グループ
  - ⑤ 元婦人会長の体験をいかし、ボランティアを通して和を

開催時期については、農業の関係上仕事のきりのよいときで年間二十五時間を